

【管理運営状況公表様式】

平成27年度 青森県武道館の管理運営状況

県所管課	教育庁スポーツ健康課
指定管理者	公益財団法人弘前市体育協会 会長 佐藤 眞
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
武道その他体育・スポーツの普及・振興に関する業務	<p>(1) 青森県武道館護身術（合気道）教室 県内の小学生から一般まで幅広い年齢層を対象に初心者から競技者までレベルにあった指導を行い、楽しみながらなぎなたの基本的な技術の習得、基礎体力・競技力の向上を図りました。</p> <p>(2) 「SPECIAL DANCE」教室 中央で活躍するダンサーを招へいし、県内の教職員、一般指導者、中学生以上を対象に2回にわたりダンスの技術指導を行いました。</p> <p>(3) 第6回青森県武道館小学生・中学生相撲大会 小学4年生から中学3年生までの相撲競技者を対象にして、日頃の練習の成果を発揮する機会を提供するとともに、競技力の向上と健全な精神の育成を図りました。</p> <p>(4) オリンピックメダリストによる青少年柔道大会 2004年アテネオリンピック、2008年北京オリンピック柔道女子63kg級で金メダルを獲った谷本歩美氏を招へいし、県内の青少年柔道競技者への指導を行い、競技力の向上と柔道競技の普及振興を図りました。</p> <p>(5) タグラグビー教室 平成28年より7人制ラグビーがオリンピック種目に採用されることを機に、当地域におけるラグビー競技人口の底辺拡大と競技の普及振興を図ることを目的に、講師に東京都市大学ラグビー部監督の椿原徹也氏を招へいし、ラグビーの歴史やルール説明などの講話、基本技術の指導をいただきました。</p> <p>(6) 第12回武道演武大会 県内の武道家や武道愛好家がそれぞれの巧みな技を披露する機会として当大会を開催し、代々伝承されてきた各武道の優れた技法などを実際に見せることで、特に子どもたちの武道に対する興味をかき立たせ、本県武道の普及振興と、将来を担う青少年の健全育成を図りました。</p> <p>(7) 県立・県営施設合同企画事業「2015青森イレブンスタンブラリー」 県内の体育施設と文化施設が共同事業を展開することで、県有施設間の共通理解と連携を深め、各施設の活性化と利便性の向上につなげました。</p>
施設の維持管理業務	利用者の快適、かつ安全な利用を図るため、施設等を清潔に保ち、さらにその機能を正常に保持するため、適正な管理と建築物における法令に沿った保守点検等を実施しました。
自主事業の実施	総合武道施設としての特色を活かすとともに、競技人口の増加と競技力の向上を図り、武道振興の一助とするため、柔道、空手道、少林寺拳法、剣道、なぎなた（新規）の武道教室を開催しました。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
利用者数（人）	H24	212,000	209,064	98.6%	91.5%
	H25	237,700	244,414	102.8%	116.9%
	H26	219,400	211,444	96.4%	86.5%
	H27	215,000	206,891	96.2%	97.8%
使用料収入（円）	H24	26,300,000	25,834,240	98.2%	110.2%
	H25	26,550,000	31,421,600	118.3%	121.6%
	H26	27,540,000	28,643,780	104.0%	91.2%
	H27	27,540,000	28,506,130	103.5%	99.5%

<p>【増減理由】</p> <p>・利用者数 前年度と比較すると、4,553人の利用者減となりました。 その主な理由は、前年度7月に開催された県中体連夏季大会柔道競技の利用者が多かったことによるものです。 目標値に対しては、3.8%下回る結果となりました。</p> <p>・使用料収入 前年度と比較すると、137,650円の減額となりましたが、目標数値に対して3.5%、966,130円の増となりました。 その主な理由は、前年度8月に行われた北里大学躰道部の夏合宿が当年度行われなかったことにより前年比では下回りましたが、プロレスの興業イベント収入が目標数値を達成できた大きな要因です。</p>
--

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	利用者アンケートの結果、運営状況、職員のマナー等に関する評価が4で、良好である。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	利用者アンケートの結果、受付案内や広報・PRに関する評価が4で、良好である。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	4	4	利用者アンケートの結果、評価が4で、良好である。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	年度事業計画書等の内容が満たされている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	4	契約電力量を見直すなど、コスト削減努力が行われ、大幅に経費を削減した。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	3	4	文化・スポーツイベントを積極的に受入れ、また利用者のニーズに応じて新規事業を実施するなど、利用者数の増加を図っている。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	各種法令等を遵守し、年度事業計画書等に沿って適正に運営されている。
総合評価	3	4	年度事業計画書等の内容が満たされている上、サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが良好に行われている。 指定管理料の執行も良好であり、成果目標においても実績を上げた。 (①～⑦の平均：3.7)

○評価基準

- 5 (秀)：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績を上げている
- 4 (優)：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績を上げている
- 3 (良)：業務水準書等の内容が満たされている
- 2 (可)：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する
- 1 (不可)：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。